

■ソリューション概要

社会インフラ管理プラットフォーム SIMPL は、橋梁、トンネル、法面、シェッド、舗装、河川、街灯、標識など、様々な社会インフラのデータを統合的かつ効果的に管理するための仕組みです。施設や設備の設計に関するデータ、点検、診断、補修に関するデータ、補修業務の発注や日常の作業の履歴など、社会インフラに関するデータを統合して保管・管理し、業務において効果的なデータ活用環境を提供します。また、システムに格納したデータは様々な既存のシステムから利用することができるため、システムを拡張したり、データ分析の機能を使用して効率化を進めたりすることが容易です。

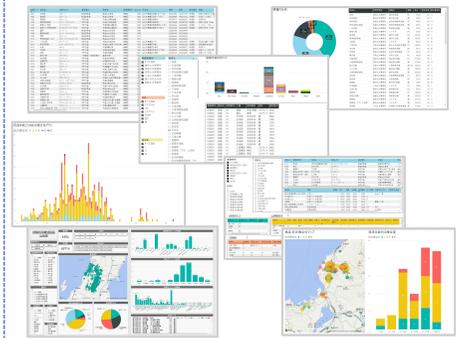
■SIMPLの基本機能

橋梁、トンネル、のり面、標識など、様々な社会インフラの点検・診断・補修の情報を蓄積管理する「データ管理機能」



SIMPLの基本機能は、PCだけでなく、タブレットやスマートフォンといったモバイルデバイスでも利用することができます。事務所での総合的な管理では、様々な条件を組み合わせデータ抽出して分析したり、報告用の帳票を作成したりすることができます。現場での維持管理では、点検現場への移動中に周辺の情報を確認したり、点検作業中に過去の補修情報から詳細な情報を確認したりすることができます。

簡単な設定画面で蓄積したデータを多角的かつ自由に分析する「データ分析機能」



SIMPLに蓄積されたデータは、データ分析機能を使用して、データを抽出したりグラフにしたりすることができます。条件を使用して対象の施設のデータだけを取り出したり、補修の状況を把握するためにダッシュボードを作成したり、日常発生するアドホックな業務や、管理業務のためのデータ分析を容易に実現することができます。

■SIMPLのプラットフォームとしての活用

SIMPLに蓄積したデータは、容易に取り出し、様々な機能を提供するシステムや仕組みと連携させることができます。SIMPLをデータプラットフォームとして利用することで、データの効果的な管理を実現しながら、必要な機能を追加して業務の効率化を進めることが可能です。



■SIMPLの特徴

- 標準化されたデータのモデル
内閣府 SIP 戦略的イノベーション創造プログラムを通じて、インフラ管理情報データの標準化と活用の仕組みづくりを検証、研究結果であるデータモデルを活用。
- オープンで持続可能なITのモデル
将来使い続けるITの仕組みを実現するために、クラウドベースのオープンで持続可能なITアーキテクチャーを活用。サーバーレスのPaaS群を中心に構成。
- 現場での実証と現場の声の反映
現場のニーズと技術のシーズの最適なバランス。
SIMPLは、SIPの社会実装プロジェクトの実証と現場の声の集大成。

■SIMPLの導入実績

- 複数の自治体で活用が進んでいます
管理施設 約 78,000 件
(橋梁、トンネル、カルバート、シェッド、舗装、盛土、切土、横断歩道、ベDESTリアンデッキ、道路標識、道路照明、共同溝、地下構造物など)
管理データ 約 1,000,000 件
(施設、帳票、写真、図面、補修履歴など)
※年に3回程度の継続的な機能アップグレードを実施しながらサービスを提供

■SIMPLの導入費用

SIMPLは管理施設数に応じた利用料モデルのクラウドサービスです
標準サービスは、初期費用無料でサービス利用料のみで利用できます

初期費用	標準サービス利用の初期費用は無料
サービス利用料	管理施設数に応じてサービス利用料が必要
データ登録費用	標準登録ツール無料、有償の登録サービスあり
カスタム費用	独自要件にあわせた有償カスタマイズも可能